

「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」主催

第4回「教育フォーラム」開催

# 「学ぶこと・働くことの意義」を 問い掛け気付きの機会に

「出張授業」などで教育現場との交流を続けている「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会（以下、推進委）」は、3月13日（土）、日本工業倶楽部において、中学生、教員、保護者を招き、「教育フォーラム」を開催した。



## 中学生75名が熱心に聞き入る

参加者は、関東地区の中学校から中学生75名、教員49名、保護者10名にのぼったほか、教育関係者や推進委メンバーも多数出席した。

第1部では、浦野光人氏（ニチレイ取締役会長）が「『解』のない時代を生きるための力」と題した基調講演を行った。約50分の講演時間を、生徒たちは集中力を途切らせることなく聞き入り、講演の後、活発な質問が出された。

第2部では、生徒、教員、保護者が約10名ずつの班に分かれ、推進委のメンバーが講師として各班に加わり、グループ・ディスカッションが行われた。事前にアンケートで、生徒には「将来、何になりたいのか」、教員には「教育現場で感じる悩みや問題」などを聞いており、講師はアンケートに目を通して本番に臨んだ。教員と保護者グループは、日頃の問題意識を講師に投げかけていた。

### プログラム

#### ■第1部：基調講演

「『解』のない時代を生きるための力」

地球環境問題委員長 浦野 光人（ニチレイ 取締役会長）

#### ■第2部：グループ・ディスカッション

◇生徒グループ

「勉強するのは何のため？ 働くってどういうこと？」

◇教員グループ／保護者グループ

「これからの社会で求められる力と教育のあり方」（共通）

### 参加講師

50音順 ※所属・役職は開催当時

#### 〈生徒グループ・ディスカッション担当〉

- 岩尾 啓一 （キャリア工学ラボ、取締役社長）
- 岩下 正 （ローン・スター・ジャパン・アクイジションズ 会長）
- 浦野 光人 （ニチレイ 取締役会長）
- 喜吉 憲 （カルチュア・コンビニエンス・クラブ 顧問）
- 小林 恵智 （ヒューマンロジック研究所 取締役会長）
- 永山 妙子 （ファースト エグゼクティブ リミテッド 代表取締役）
- 廣瀬 駒雄 （ディレクトフォース シニアフェロー）

#### 〈教員グループ・ディスカッション担当〉

- 木村 廣道 （ライフサイエンスマネジメント 取締役社長）
- 同前 雅弘 （大和日英基金 副理事長）
- 茂木 賢三郎 （キッコーマン 相談役）
- 吉村 幸雄 （シティグループ・ジャパン・ホールディングス 執行役員 ガバメント・アフェアーズ担当）

#### 〈保護者グループ・ディスカッション担当〉

- 山中 信義 （バインキャピタル・ジャパン 副会長）



第1部 基調講演

「『解』のない時代を生きるための力」

地球環境問題委員会 委員長  
 浦野 光人氏 (ニチレイ 取締役会長)

◆なぜ学ぶのか？

講演のテーマで、「解がない」と言っていますが、実は解はあります。100人いたら100通りの解がある。「解がない」というのは「幾通りもの解がある」ということです。では、皆さんは、なぜ勉強するのですか？この問いにも100人いたら100通りの答えがあるでしょう。私なりに要約すると、勉強をする理由は三つあると思います。

一つは、自分がやりたいことを見つけるためです。まだ将来が定まっていない人、あるいは複数の夢がある人の場合は、これから勉強をしていく過程で夢が固まっていくでしょう。

もう一つは、すでに夢を持っている人の場合、その夢に、より確実に近付くためです。例えばサッカー選手になりたいという夢があるなら、どんな練習メニューがいいか、戦術はどう組み立てるかなどを考えることそのものが勉強です。さらに食事や休養についても理解と知識が必要でしょう。

最後は、先人の知恵を「自分のもの」にするためです。人類が誕生したのは500万年前。土器の作り方、狩りの仕方、農業の仕方など、いにしえの人が積み重ねてきた知恵があります。昔の人は、「人はなぜ生きるのか」という問題にも回答を出してきました。それをまとめたのが哲学という学問です。今後、いろいろと悩むことも多いでしょうが、先人の知恵を学ぶことで、同じことに悩まずに済んだり、自分なりの答えを絞り出したりできるのです。

◆たくさんの失敗をしてほしい

私が皆さんに望むことは、たくさんの失敗をしてほしいということです。そもそもチャレンジをするから失敗をするのであって、チャレンジしなければ失敗ありません。なぜ失敗したのか。反省する過程で分析力が磨かれ、「なにくそ」という勇気もわいてきます。だから、ちょっぴり難しいことに挑戦してほしいと希望します。

日本は、明治維新後140年間、戦前は富国強兵、戦後も経済成長という一つの目標に向かってまい進し、豊かな国家になりました。しかしバブル経済の崩壊時以降、一つの目標だけでやっていくことは難しくなっています。国内では少子・高齢化、地球規模では地球温暖化など課題も山積しています。こうした問題は、人類が初めて直面する課題だからこそ、解決に向けて挑戦する者には失敗もあるでしょう。ぜひ、失敗を恐れずチャレンジし、仮に失敗してもそこから学んで欲しいと思います。

イギリスの経済学者、アルフレッド・マーシャルは、「Cool Heads, but Warm Hearts」という言葉を残しています。社会で活躍するには、「冷静に考える頭脳と温かい心」の両方が必要だと言っているのです。こんな言葉も、参考にしてください。ただ、ここで私が話したことも考え方の一つに過ぎません。参考にしながらも、あくまで自分の頭で考えることが大切です。

◆質疑応答◆

Q 浦野先生は今どんな課題にチャレンジしていますか。

A 経済同友会で地球環境問題を考える委員会に参加して、どうすれば今の便利な生活を保ちながら、温室効果ガスを減らせるか。そんなことを一生懸命に考えています。

Q リーダーシップのほかに経営者に必要なものは何ですか。

A まず体力がベースです。好奇心も大切。そして「なぜなんだろう」という疑問を持つこと。皆さんも疑問に思ったことは、お父さん、お母さん、先生方とたくさん話をしてください。

Q 手段と目的を分けることが大切だが、いつの間にか手段が目的になってしまうとお話でした。目的を明確に持ち続けるにはどうすればいいのでしょうか。

A 哲学を持ち、何のために生きるのかを考え抜くことです。ぜひ哲学や宗教の古典を読んでほしい。孔子やソクラテスらはた

くさん本を残しています。それら古典も一つのきっかけにし、自分自身で生きる目的を考えてほしいと思います。

Q 地球温暖化以外に地球の課題はありますか。

A 貧富の差の問題があります。貧しい環境に置かれた子どもたちの問題解決のため、医療・食糧・教育などの分野で多くの人が努力していますが、問題解決は道半ばです。では、地球が一つの国になると解決するのでしょうか？ すごく大きな問題です。将来を担う皆さんも考えてください。

Q 今の若者に足りないものは何だと思いませんか。

A 積極的なチャレンジが少ないと思います。鉄棒の逆上がりができず悔しくて何度も練習するとか、勉強を頑張る、スポーツで成績を上げる — みな素晴らしいことです。失敗を恐れず、少し難しいことにチャレンジしてください。

## 第2部 グループ・ディスカッション

### テーマ

◇生徒グループ  
**「勉強するのは何のため？ 働かってどう  
いうこと？」**

◇教員グループ／保護者グループ  
**「これからの社会で求められる力と教育  
のあり方」(共通)**

### 自身の経験も交えて 熱く意見交換

第2部は、生徒7班、教員4班、保護者1班に分かれ、グループ・ディスカッションを行った。

生徒グループのディスカッションは、講師と生徒の自己紹介から始まった。初めは緊張していた生徒たちだが、講師のリードもあり、次第に積極的に発言をするように。各自が普段疑問に思っていることや将来の夢に関連する質問な

どを投げかけ、講師も自身の経験などを交えながら丁寧に答えていた。

また、教員や保護者のグループでは、参加者の問題意識も高く、活発な議論がなされた。講師からは、基礎教育の不徹底、大人社会の規範意識の劣化などを問題提起し、教員からは現場の事例が報告され、熱のこもった意見交換であった。

第2部終了後の交流会では、参



加者同士が和やかに談笑する様子が随所で見られた。第1部から休憩も挟み約5時間と長時間におよぶ「教育フォーラム」だったが、参加者の満足度は高く、活気にあふれた会合となった。

### 生徒の感想

- 自分の責任や過ちを知ることはとても大切であり、自立や自律が今、求められていると思いました。知・徳・体をバランスよく揃えている人材は貴重で、これから社会、国、世界を作っていくのに絶対に必要だと教えられました。(私立中・女子)
- 社会に出ると、どんなことにも答えがないということに驚きました。答えがないのに、どうやって物事を進めるのか疑問に思いました。社会で必要とされていること、新しいことに取り組むことが大切であり、さまざまな分野を世界から見つめ、資質・意欲・関心に合ったものを見極めるとよいことを学びました。(墨田区立中・女子)
- 人々の生活は、世の中のさまざまな「仕事」によって支えられていて、一人だけでできることはないのだと思いました。だからといって、周りの人に頼ることなく、自分から失敗

を恐れずチャレンジしようと思いました。(練馬区立中・男子)

- 世の中にパーフェクトな人間はいない。必ずどこかに欠点がある。だから、できるだけ努力をする、考える、聞く、聴く、訊く。そうすることで自分を磨くことができ、社会で通用する人間になることができることを知りました。(杉並区立中・男子)

### 教員の感想

- 子どもたちは失敗を恐れ、大人から与えられた安全の中で過ごしているように思います。自ら進んで問題に取り組み、失敗の中から学ぶ姿勢が今の子どもたちに足りないのではないか。その思いを新たにしました。(私立中・教諭)
- 他校の中学生の質問を聞き、啓発させられたところもありました。基調講演を受けて生徒たちがどのように考え、消化しているのか。生徒たちの考え方、受け止め方が大変参考

になりました。(私立中・主任教諭)

- 具体的に事象と照合せながらのお話は非常にわかりやすく、また行動化への道が拓かれる思いがしました。(さいたま市立中・教諭)
- 経験と先見性のある講師の方とのディスカッションはとても有意義でした。もっと講師の方とコミュニケーションが取りたかったです。次回も参加したいと思います。(杉並区立中・校長)

### 保護者の感想

- 経済同友会の熱意や取り組みがよくわかりました。パワフルな方ばかりで、楽しく意見交換できました。(野田市立中・PTA)
- 参加者の方々の意見も素晴らしく、勉強になりました。特に、地域にどのように関わっていくかという問題について、いろいろな視点から意見が出てよかったです。(世田谷区立中・PTA)